

2025年度

JA 遠州中央ときめき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月1日（木）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年1月26日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」の理念のもと、五感を刺激する遊びと環境を整備すると共に、興味・関心が広がるよう援助した。 また、自分なりに表現する楽しさを味わえるよう、肯定的な言葉かけを意識した。
子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの発達や特性を尊重しながら、適切な環境設定を心がけた。 子どもの言動や気持ちを受け止め、安心感から次の意欲に繋がるよう温かく応じることを大切にしたい。
保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の気持ちに寄り添い、子どもの姿を丁寧に伝えるなどの対応を日々積み重ね、一緒に見守る姿勢を大切にしたい。 「保育の見える化」を意識する事で、活動の雰囲気や子どもの様子をより詳細に伝えた。今後も継続し、相互のコミュニケーションを深めていきたい。
保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> 園内外の研修を通し、自らの保育を振り返ったり、学びを深めると共に、その内容を職員間で共有することで、園全体のスキルアップを図った。 15分ミーティングや会議を通し、子どもの姿を多面的に捉える意識が定着してきた。次年度も継続し、保育の質向上に繋げたい。

総評
<p>心の基盤ができる重要な乳幼児期となるため、保育士との関わりは愛着形成を中心とし、温かく丁寧に応じることを大切にしたい。また「今、何が子どもに一番大切か」を考えて対話を重ねながら、職員が連携し援助した。次年度も引き続き、子どもの思いを受け止め心の安定を図ると共に、十分自己発揮ができるよう、興味・関心に合わせて柔軟に環境を変化させながら「見守り、待つ」姿勢で育ちを支えていきたい。</p> <p>また、JA様と連携を密にし、季節の野菜作りなど園の特色である食育活動を通して「楽しい食」への取り組みを継続していく。</p>